

2023年度(令和5年度)学校評価自己評価表

東朋中学校区	校番	福山市立大谷台小学校
最終更新日		2024年(令和6年)2月9日

I 福山市

ミッション ビジョン	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。
---------------	---

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 21世紀型“スキル&倫理観”	○課題発見解決能力 ○コミュニケーション能力(自己効力感) ○チャレンジ精神 ○思いやりと感謝の心(地域貢献)
○コロナ禍で色々なことで努力してもらっている。 ○「子どもを育てる」という視点で地域と学校との関わりを増やしてほしい。 ○学校の様子が分からないので、様子が伝わるように工夫してほしい。	○「学校に行くのが楽しい」「安心して通っている」と感じている児童生徒の割合は91.3%(校区平均)であり、安心・安全で学校に楽しみを感じながら登校している。 ○「目標や方法を選びながら学んでいる」や「考えること、学びが面白い」と感じている児童生徒の割合は84.0%(校区平均)であり、選択・決定したり、対話をしたりしながら自ら学びを進めている。 ○昨年度も、コロナ禍のため、児童生徒が対面して交流することができなかった	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	○よりよく課題を解決し、自分の生き方に生かす ○互いを認め、よりよい人間関係を形成する ○自分に必要な挑戦を選択してやってみる ○人や社会の役に立てたことへの喜びや達成感を感じる
		中学校区として統一した取組等	○子ども主体の学びづくり(授業、児童生徒会活動、ボランティア活動など) ○体力や健康についての自己課題の解決 ○SDGs「住み続けられるまちづくりを」につながる生活科・総合的な学習の時間等の充実

III 自校

ミッション
人間性豊かに社会を生き抜く子どもを育てる
自律・尊重・挑戦

学校教育目標
学び 伸びる

現状
<p><児童生徒></p> <p>○「学校が楽しい」答える児童は、それぞれ90.3%であった。今後も、トラブルがあっても1日の終わりに納得して下校でき、保護者との連携を丁寧に行いながら、安心・安全な学校づくりを進める。</p> <p>○「貢献活動ができて」「自己の努力したことや成長したことを実感できた」と答えた児童は、それぞれ85.5%、88.7%であった。貢献の意味や具体的な貢献内容を児童と共有すること、行事等の振り返りを継続して行っていく。</p> <p>○「体を動かすのが楽しい」と答えた児童は、91.9%であった。朝のダンスタイムや週1回のロングタイム昼休憩で楽しく体を動かす機会や場を今後も設定していく。</p> <p>○93%の児童が朝食を食べて登校してきている。一方、十分な睡眠をとっている児童は70%であった。今後も元気もりもり週間の結果を児童と共有し、児童自身に課題意識を持たせる。</p> <p><授業></p> <p>○「学びが面白い」と答えた児童は、86.3%であった。今後も、児童自ら選択し、決定できる授業、自由進度学習やコース選択学習等、児童が自ら学習計画を立て、自ら学ぶ授業づくりを進めていく。</p>

育成する力 21世紀型“スキル&倫理観”	課題発見解決能力	コミュニケーション能力	チャレンジ精神 (自己効力感)	思いやりと感謝の心 (地域貢献)	
めざす子ども像	5・6年	解決に向けて、主体的に選択・判断する	人の考えや気持ちを受け入れ、自分の意見や気持ちを表現する	結果の理由を次に生かしてやってみる	人や地域のためになることを考え、行動する
	3・4年	解決への方法を考え、見通しを立てる	人の気持ちを考え、自分の意見を理由をつけて伝える	得意なこと苦手なことやってみる	人や地域のためになることを考える
	1・2年	もんだいにきづき、かだいをたてる	じぶんのかんがえやきもちをいう	もくひょうをもつてやってみる	ひとやちいきにかんしゃのきもちをもつ

研究	テーマ	自己の伸びを実感できる授業づくり ～自ら挑む学習デザインと探究の循環を通して～
	主題・内容等	<ul style="list-style-type: none"> 自由進度学習に取組む単元の設定と授業づくり。 思考過程が分かるノートづくりと日々の評価。 学習の見通しや学習活動の目的、テストの日程の共有。 新聞を活用するなどして、自分の思いや考えを文章にまとめる場の設定。 学びや伸びを可視化する記録の蓄積。
めざす授業の姿		<ul style="list-style-type: none"> 児童が自ら「なぜ?」「どうして?」「知りたい!」と学習課題を見つけ、見通しを持って粘り強く解決に取組み、学んだことをもとに自分の思いや考えを伝えることに挑戦できる授業。 児童がP(計画)D(実践)C(評価)A(改善)サイクルの過程をつないで思考を深める授業。

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立大谷台小学校

Table with 10 columns: 年目, 中期経営目標, 重点, 分類, 短期経営目標, 目標達成に向けた取組, 評価指標, 中間評価(10月1日), 最終評価(2月末). Rows describe various educational goals like '子どもが主体的に学ぶ' and '個性と多様性の尊重'.

[プロセス評価の評価基準]

Table with 2 columns: 評点, 評価基準. Rows 1-5 describe criteria for process evaluation from '取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ' to '取組の目的に対する共通理解が認められず'.

[達成評価の評価基準]

Table with 2 columns: 評点, 評価基準. Rows 1-5 describe criteria for achievement evaluation from '目標を大幅に達成し' to '目標を大きく下回り'.

[総合評価の評価基準]

Table with 4 columns: 評点, 達成度, 評価基準. Rows 1-5 describe criteria for overall evaluation from '100%以上の達成度' to '40%未満の達成度'.